

心筋保護液注入中の心筋血流評価に関する基礎的検討

1. 研究の対象

2024 年 1 月～2025 年 3 月に高知大学医学部附属病院で心臓手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

心臓の手術では、心臓内の修復や弁を取り替える治療をする間、一時的に心臓を止めて心臓を開いて手術を行い、終了後には再び心臓を動かします。止めた心臓が確実に拍動を再開するように開発された「心筋保護液」という特殊な薬液を心臓の筋肉に流しますが、なかには期待通り心臓の機能が回復しない方がいます。そんなことがゼロになるよう、一つずつ原因を突き止め対策を構築しているところです。今回の検討では、心筋保護液が心臓の筋肉全体に流れているか、流れていないところがないかを超音波診断装置を使って確認できないものか、もし確認できないなら何が原因となっていてどうすればいいのかを突き止めることを目的にしています。

研究期間は、倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日までですが、データを利用する予定日は、2025 年 6 月 1 日からです。

3. 研究に用いる情報の種類

検討に用いるのは、電子カルテ内に保存されている年齢、性別、その他の身体情報の他手術の種類、手術中にモニターした数値データ、手術中に保存したエコー画像などです。いずれも個人を特定されない形で検討を行います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 連繋医工学分野 渡橋和政（研究責任者）

[TEL] 088-888-2022 [e-mail] orihashik@kochi-u.ac.jp

